

# 野々下・沖ノ田海岸、沖ノ田海岸の治山施設等災害復旧事業に係る地元説明会概要

件名	東日本大震災による治山施設災害復旧事業の説明会【野々下・沖ノ田海岸、沖ノ田海岸】
日時	平成28年3月17日(木) 19:00～19:40
場所	大谷公民館 和室
出席者	(行政区)大谷南、大谷東、中郷、向原 (仮設住宅)大谷中学校、階上中学校校庭、長磯前林地区、長磯七半沢地区ほか 住民 約10名
概要	<p><b>1. 説明会の目的</b></p> <p>東日本大震災により被災した防潮堤を含む海岸防災林の復旧整備については、沖ノ田海岸は平成24年11月に、野々下・沖ノ田海岸は平成26年11月にそれぞれ防潮堤の復旧計画について地域住民の皆様にご説明を行いましたが、その後、隣接工事や防潮堤に取り付ける階段の設置位置等について調整を行ってまいりました。</p> <p>今般、ご意見・ご要望を踏まえた復旧計画がまとまったことから、海岸防災林の復旧工事に着手いたしたく地域住民の皆様にご説明を行ったものです。</p> <p><b>2. 主な質問・意見と回答</b></p> <p>質問等1 沖ノ田海岸は震災前より湿地帯であり、防潮堤背後の排水はどうなるのか。また、野々下海岸のような位置に管渠工を設置すると捨石等により埋まるおそれがあるため、設置高さを十分に考慮してほしい。</p> <p>回答 野々下・沖ノ田海岸、沖ノ田海岸ともに径600mmで1号、2号管渠工により排水する計画としている。ため池も含め排水路の高さ等を調整しており、設置位置は管渠の底部がT.P+0.7mとなるように計画している。仮設の波除けについては袋詰玉石工で実施し、工事終了後に全て撤去する計画としている。</p> <p>質問等2 沖ノ田海岸防潮堤の真ん中に階段工があるが、防潮堤右側の水門近くにも階段工は設けないのか。</p> <p>回答 階段工は、野々下・沖ノ田海岸からの連続性をもたせ200mに1箇所程度の計画としている。水門から先は御伊勢浜海岸の緩傾斜堤となっており、人の往来が可能な構造としている。</p> <p>質問等3 野々下・沖ノ田海岸右岸側の取付部は岩盤が風化侵食されやすいため、十分に気をつけてほしい。</p> <p>回答 ご指摘の箇所の岩盤の状況は十分に理解しており、考慮して施工する。</p> <p>質問等4 海岸防災林の樹種を教えてください。また、野々下・沖ノ田海岸の背面の防災林は40mの幅があるのか。</p> <p>回答 海岸防災林造成については乾燥等に強いマツを植栽する計画としており、抵抗性マツを使用する。海から離れた場所には外の樹種でも良いと考えている。防潮堤の幅が約20mあり、比較してもらえれば40m程度とお分かりいただけると思う。</p> <p>まとめ 貴重なご意見を伺いありがとうございました。野々下・沖ノ田海岸、沖ノ田海岸については今後工事を進めさせていただきますが、当方は、一日も早く復旧整備を進めたいと考えています。工事が始まると濁水の発生がご心配になると考えていますが、シルトフェンスを設置して極力濁らないように努めます。</p> <p>また、資材を運搬するトラックが頻繁に通行することとなりますが、細心の注意を払って工事を進める考えであります。工事が進む中でお気づきの点がございましたら、遠慮なく事務所へ連絡していただければ、可能なものについては対応してまいります考えですので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

【説明会の様子】

